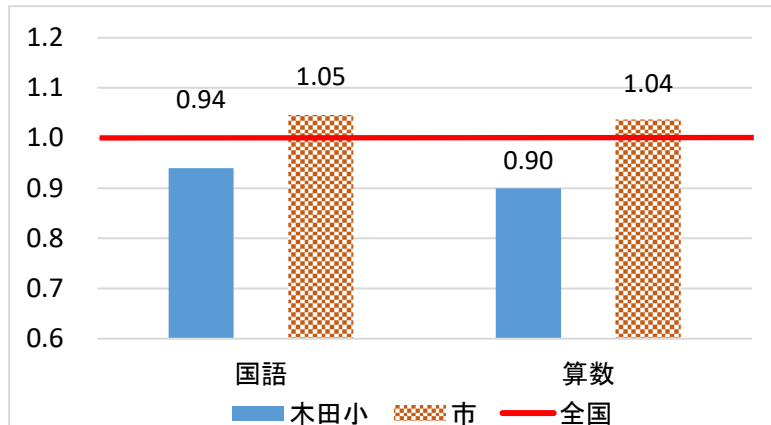


○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

【国語】

「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」領域の「資料を用いた目的を理解する」問題については、全国平均に近い結果であった。今後も各教科の学習指導とディベート学習等において、自分の考えをまとめて発表したり、グループ学習等を通して考えを深めたりする中で、言語活動に重点をおいた学習活動に取り組んでいく。

【算数】

「データの活用」の「帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる」問題については、全国平均に近い結果であった。今後も資料を活用して考える力の育成に努めつつ、算数的な思考が深めるような学習活動に取り組んでいく。また、「数と計算」の問題に課題があるため、基礎的な学習の定着を目指した学習活動に取り組んでいく。

【質問紙調査】

「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」と「友達と協力するのは楽しいと思いますか」の質問について、肯定的に回答している割合が全国平均に近い結果である。これからも、学級の友達を大切にして学び合うことのできる子どもの育成に取り組んでいく。

○学力向上の取組

【中学校区】

中学校区3校での研修・授業交流と共に全国学力・学習状況調査の結果の共有を行い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりと全市的な小中一貫校への移行を見据えた義務教育9年間の小中一貫カリキュラムの構築に向けた取組を推進している。

【学校】

「豊かな心を育み、学び合い創り合い、たくましく生きる子どもの育成」を学校教育目標として、豊かな心、確かな学力、健やかな体の調和のとれたきめ細かな教育活動を推進している。「ねやがわスタンダード」を授業づくりの基盤にして、子どもたちにとって分かりやすい授業を実施することで子どもたちの学力向上に努めている。